

第1号議案 令和元年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、 損益計算書、剰余金処分(案)の承認について

自 平成31年4月 1日

至 令和 2年3月31日

I 事業活動の概況に関する事項

日本経済は、米中貿易摩擦やイギリスのEU離脱問題等の影響により減速の動きがみられておりましたが、年明けに発生した新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、経済活動が抑制され、厳しい状況が続いています。

県内経済についても、日韓関係悪化等による観光客の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響等により、大変厳しい状況が続いています。また、中小企業を取り巻く経営環境は、消費税増税や軽減税率制度の導入、働き方改革関連法の施行等大きく変化しました。

こうした中において、各組合員におかれましては、地域経済の重要な担い手である中小企業として、この1年間、経営改善、生産性向上等に努め、懸命に経営の維持や地域経済活性化のために取り組んでこられたものと存じます。

当組合におきましては、共同経済事業の維持・発展、組合員の経営支援活動などに努めるとともに、組合員の皆様から信頼される組合を目指し、微力ではありますが、その機能が発揮されるよう取り組んできたところです。

さて、組合では共同受電方式を廃止して九州電力(株)への移管を行う工事を平成28年度から実施しているところですが、今年度につきましても対象需要家等の方々のご協力により、大きなトラブルも無く終了することができました。移管工事は、令和2年度で完了する予定ですのでご協力よろしく申し上げます。

企業力強化視察・研修は、伊勢・高山において実施し、日本古来の木造建築や地域資源を有効活用した地域活性化策を視察研修しました。

また、鹿児島港中央港区開発推進協議会や福利厚生事業としての各種講習会などを開催しましたところ、多くの組合員の皆様に参加していただき感謝申し上げます。

収支面におきましては、共同受電事業、共同施設利用事業などの共同事業収入の確保に努め、当期利益を計上することができました。

これらのことを成し得たのも、ひとえに組合員の皆様のご協力・ご支援、そして関係各方面のご援助によるものと厚くお礼申し上げます。

1 共同経済事業

冒頭で述べたような経済状況の中、当組合におきましては、収入の確保に努めて参りました。事務所横グラウンドや埋立地等の土地建物賃貸収入につきましては、昨年度並みの収入を得ることができました。一方、電気料金収入につきましては移管工事に伴う需要家減等により、昨年度決算額と比較して減額となり、共同事業収入の総額も対前年度比で75%になっております。

支出につきましては、移管工事に伴う共同受電工事費が昨年度とほぼ同額となりましたが、支払電気料の大幅な減額や借入金の元本返済に伴う共同施設借入支払利息の減額により、対前年比70%となっております。

この結果、収支差額については予算額を若干下回る結果となりました。

最近5か年間の事業実績の推移は下記の表のとおりですが、今後とも経費の節減、経営の健全化等を図りながら収入の確保に努めて参りますので、組合員の皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

◎ 最近の事業実績

(単位:千円)

区分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年度比
共同経済事業収入	(予算額)	(395,635)	(367,200)	(314,500)	(286,600)	(212,480)	(決算)
	決算額	369,679	343,770	319,343	285,785	214,248	75.0%
収入内訳	電気料金収入	250,726	228,690	205,278	173,674	110,109	63.4%
	共同受電使用料	26,270	24,075	21,398	17,974	11,325	63.0%
	共同受電工事収入	5,890	2,498	2,433	2,863	846	29.5%
	共同金融事業収入	19	19	0	0	0	-
	土地建物賃貸収入	21,298	21,788	22,226	21,290	21,644	101.7%
	埋立地賃貸収入	56,817	58,058	59,156	61,233	61,396	100.3%
	駐車場等使用料	7,448	7,433	7,728	7,695	8,071	104.9%
収入印紙等販売収入	1,211	1,209	1,124	1,056	857	81.2%	
共同経済事業支出	(予算額)	(299,052)	(303,753)	(247,696)	(216,234)	(145,233)	(決算)
	決算額	273,365	271,976	239,705	213,589	148,935	69.7%
支出内訳	支払電気料金	250,728	228,687	205,280	173,675	110,116	63.4%
	共同受電工事費	15,112	37,855	29,973	35,537	34,356	96.7%
	共同金融事業費	12	12	0	0	0	-
	共同施設利用事業費	1,045	253	220	374	680	181.8%
	共同施設借入金利息	6,468	5,169	4,232	4,003	3,783	94.5%
差 額	(予算額)	(96,583)	(63,447)	(66,804)	(70,366)	(67,247)	(決算)
	決算額	96,314	71,794	79,638	72,196	65,313	90.5%

(1) 共同受電事業

令和元年度の共同受電事業は、新增設に伴う電源供給工事2件、改修工事1件を行いました。また、令和元年度実施の九州電力移管工事第4期に伴い、上期34件(うち高圧需要家3件)、下期5件(うち高圧需要家3件)の合計39件の切替工事を行いました。組合員皆様のご協力により、事故・けが等も無くスムーズに移管工事ができましたことを厚く御礼申し上げます。

供給支障事故は、令和元年7月16日一部地域(南1号線地域)において、電線破断に伴う停電が1件発生しましたが、関係事業者の協力により速やかに復旧できました。利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、今後このようなこと

が無いよう、九電への迅速な移管作業と安全点検に努めてまいります。

令和元年度の共同受電電気料金は、九電契約電気料金と比較すると、年間95.4%（昨年度96.4%）となり4.6%安価となりました。

今後とも九州電力(株)へ全て移管するまでは、巡視・改修工事を行い、共同受電設備による電力安定供給に努めてまいりますので、組合員の皆様のご理解とご協力をよろしく願います。

(2) 金融事業

本年度の金融事業については、総会において1組合員に対する貸付、又は債務保証の最高限度額を1億円としているところですが、組合員の資金調達の多様化や事業撤退などが影響しているのか、貸付の実績は季節資金融資を含めてありません。商業手形割引につきましても、利用者がいない状況となりました。

(3) 共同施設利用事業

① 土地建物等賃貸・収入印紙等販売事業

土地建物賃貸料、駐車場等使用料、及び収入印紙等販売事業については、かねてから施設の有効活用及び組合員等の利用促進・利便性向上に努めるとともに、収入の確保に努め、組合運営経費に充てているところですが、本年度は昨年度並みの30,572千円の実績となりました。

② 水面貯木場埋立地

埋立地については、土地賃貸や駐車場として利用しているところですが、本年度は昨年度並みの61,396千円の実績となりました。

また、埋立事業の借入金につきましては、平成25年10月より長期借入金については毎月元本返済を行い、短期借入金についても年間10,000千円の元本返済を実施しており、令和2年3月末時点で借入金5億円のうち217,552千円を返済(返済率43.5%)したところです。

2 調査研究及び運営活性化事業

(1) 調査研究事業

鹿児島港中央港区の開発を推進するため、周辺関係3組合（鹿児島機械金属工業団地協同組合、鹿児島市三号用地振興協議会及び当組合）を中心に会員103名で設立している鹿児島港中央港区開発推進協議会の総会及び講演会を10月7日開催するとともに、開発の知識修得を図るための研修会を2月14日に行い、多くの会員の参加をいただいたところです。また、旧木材港の埋立については、令和2年から着工される見通しとなりました。今後とも、この地域の発展のための開発計画をより一層推進する活動を行ってまいります。

ホームページにつきましては、組合の行う各種事業に関する案内周知や結果報告・写真等を掲載し、組合員との情報の共有を図ったところです。

組合員の任意の組織である五日会については、3月を除き毎月開催し、各種情報等の提供や会員同志の情報交換も行ったところです。

(2) 組合運営活性化事業

令和元年度鹿児島県中小企業団体中央会会長表彰制度を活用し、組合功労者2

名、永年勤続従業員5名を推薦し表彰を受けたところです。

第11回目となる東開町組合団地内清掃作業については、9月28日(土)午前8時から実施しました。団地内事業所約130名の方々には団地内道路沿いのゴミ収集を行っていただきました。防潮堤につきましては、周辺建設会社有志約70名の方々に、草刈を行っていただきました。おかげさまで、団地内の環境美化を推進することができました。

また、毎年組合団地内道路の安全点検を行っているところですが、事故多発地点である東開町4番地27先交差点において、鹿児島南警察署主催による交通事故多発地点特別対策合同現場診断及び検討会が開催され、活発な意見交換がなされました。

3 教育情報事業

(1) 講演会・研修会活動の推進

組合員に関する事業活動の推進、経営及び技術の改善向上あるいは組合事業に関する知識の普及等を図るために、講習会や研修会等を開催し、組合員皆様への情報提供等に努めたところです。

今年度は、鹿児島港中央港区開発推進協議会総会後に鹿児島県土木部港湾空港課 北園港湾対策監に「鹿児島港中央港区における港湾の計画と現状について」の講演会を開催しました。

◎ 鹿児島港中央港区開発推進協議会 講演会

日時	場所等	会議等の名称	開催目的	参加者数
元.10.7	組合2階 会議室	鹿児島港中央港区における港湾の計画と現状について 講師：港湾空港課 北園港湾対策監	鹿児島港の概要、臨港道路、クルーズ船の受入環境整備、旧木材港の埋立等についての知識修得	74名

また、今後の組合団地周辺の開発計画の参考となる幅広い知識の修得のための研修会を実施いたしました。

◎ 鹿児島港中央港区開発推進協議会 研修会

日時	場所	研修内容	参加者
2.2.14	組合2階 会議室	・鹿児島港の事業概要について 鹿児島港湾空港整備事務所 甲斐所長 ・みんなでつくるまちづくり 鹿児島市都市計画課担当者	60名

令和元年4月より働き方改革関連法案の一部が施行され、現在「働き方改革」は大企業だけでなく、中小企業にとっても重要な経営課題となっております。

一方、仕事を進めるうえで職員の健康管理は最も重要な経営課題でもあります。

今回、アンケート調査で希望の多かった健康管理と働き方改革について、労務管理セミナーを開催しました。

◎ 労務管理セミナー

日時	場 所	研 修 内 容	参加者
2. 2. 13	組合 2 階 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・「運動」「栄養」「休養」のバランス～健康づくりのポイント 講師：エルグ 岩元一志様 ・「働き方改革について」 講師：働き方改革支援センター 福元浩様 	16名

(2) 企業力強化視察・研修の実施

10月24日（木）から26日（土）にかけて、伊勢・高山において実施しました。伊勢神宮において日本古来の建築様式「唯一神明造」を学ぶとともに、宮域林と呼ばれる森林の状況等について視察研修を行いました。また、明治村においては、木造三階建ての東松家住宅や木造総二階建ての西郷従道邸、世界遺産「白川郷」においては、昔ながらの建築様式「合掌造り」を視察するなど有意義な体験をすることができました。

また、飛騨の匠の技をあつめた高山祭の屋台や地元の野菜、漬物、民芸品等を販売する宮川朝市など地元の歴史や地域活性化策を視察研修しました。

今回は、ご夫婦7組を含む24名の方々が参加され、視察研修を通じて親睦を図ることができました。

◎ 企業力強化視察・研修（伊勢・高山）

日 時	訪 問 先	実 施 目 的	参加者数
R1.10.24 ～ R1.10.26 (2泊3日)	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢神宮 ・博物館明治村 東松家住宅、西郷従道邸 ・高山祭屋台会館 ・飛騨高山の宮川朝市 ・世界遺産白川郷 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本古来の「唯一神明造」や木造2階・3階建て住宅、「合掌造り」など国産材を使用した木造建築を学ぶ。 ・地域資源を有効活用した地域活性化事例を視察し、見聞を拓げる。 ・参加者の交流を促進する。 	24名

(3) 組合情報誌の発行

組合の運営や活動に関すること等を組合員に周知するために、6月に第9号、1月に第10号を発行しました。

4 福利厚生事業

(1) 定期健康診断等助成金事業

組合では、平成22年度から組合員の健康管理支援のための対策を強化し、職場における組合員及び従業員の方々の定期健康診断受診率の向上、健康増進を図る趣旨から各職場における健康診断受診経費の1割を助成することとしております。

助成対象は、組合団地内にある医療機関で実施される組合員及び従業員の定期

健康診断経費です。なお、今年度の助成金の支払い状況は下記のとおりですが、昨年度に比べ増加しているところです。

◎ 令和元年度定期健康診断助成金支給実績

申請組合員数	助成対象健診料金	助成金支給額	備 考
25	6,624千円	661,300円	対前年比102%

(2) 第13回職場対抗親睦ボウリング大会の開催

組合員各職場の交流と親睦を深めることを目的に、福利厚生事業としてボウリング大会を2月7日（金）、T-MAXボウルを会場に実施いたしました。

1チーム3名で40チーム、120名の方々にご参加いただき、会場全レーンを借りて実施し、ゲーム終了後に同会場近くのNCサンプラザ7階ホールで表彰式、懇親会を開催しました。

ご参加いただいた皆様及び協賛品等提供していただいた皆様に厚く御礼申し上げます。成績は次のとおりでした。

○ 団体賞

- ・ 優勝 きたやまA本物（ホームセンターきたやま東開店）
- ・ 準優勝 タカラA（タカラスタンダード（株））
- ・ 3位 看板屋輝広（（有）輝広）

○ 個人賞

- ・ 優勝 廣江 久 （看板屋輝広）
- ・ 女性1位 永仮 順子 （231トリオ）

(3) 講習会等の実施

福利厚生事業の一環として、組合員・従業員の生きがいや健康増進を図るため、下記14講座を6月から11月にかけて開催しましたところ、延べ278人（昨年比91%）の方々に参加していただき、大変好評でした。

- | | |
|-------------------------------|------------------------|
| ① お腹シェイプ&ボディメンテナンス（6/13） | ② やせる格闘技系エクササイズ（6/27） |
| ③ やせる姿勢改善トレーニング（7/11） | ④ テーブルマナー教室（7/18） |
| ⑤ ピラティス（骨盤底筋）（7/24） | ⑥ 親子木工教室（7/27） |
| ⑦ 骨盤調整ヨガ（8/8） | ⑧ コンディショニングピラティス（8/21） |
| ⑨ Sintex「tone」背骨統合エクササイズ（9/5） | ⑩ 美ボディダンス（9/19） |
| ⑪ エンジョイダンス（10/10） | ⑫ 陶芸教室（10/12） |
| ⑬ リラックスヨガ（10/17） | ⑭ ガーデニング教室（11/7） |

(4) 第1回理事長杯ゴルフ大会の実施

第1回理事長杯ゴルフ大会を、10月30日鹿児島高牧カントリークラブで開催し、20名の組合員に参加していただき、親睦を図ることができました。

ご参加いただいた皆様及び協賛品等をいただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

5 木材需要拡大対策の推進

木材需要拡大対策の推進については、県木材利用推進運動協議会に参加するなど、関係機関団体との連携した活動を推進しました。本年度も従来から実施している10月8日の「木の日」を中心とした、県、県議会に対する陳情・要望活動へも参加し、木材需要拡大の推進に努めたところです。また、木材業界が中心になって毎年度開催している「かごしま木材まつり」にも参画するなど木材のPR活動にも努めました。

また、鶴丸城御楼門は、全国各地から多種多様な木材を調達し、宮大工の高度な技術により建築されており、木材の利用方法や木組みの技術について勉強する絶好の機会であることから9月19日に工事現場県学会を開催し、24名の方々に参加していただきました。

6 情報の収集及び提供その他

(1) 情報の収集及び提供

情報の収集及び提供については、県や市当局をはじめ県中小企業団体中央会など関係機関団体等からの情報の収集に努めたほか、各種研修会、講習会等へ積極的に参加し、組合業務運営に反映させるべく努めたところです。

(2) その他

団地内で献血活動が実施される時は、実施事業所から依頼があれば各種会合や組合ホームページ等を活用して呼びかけを行っております。

今後とも、各種課題や要望等があれば組合へご連絡ください。

7 直前3事業年度の財産及び損益の状況

(単位:円)

項 目	前期	前々期	前々々期
	平成30年度	平成29年度	平成28年度
資 産 合 計	600,562,242	639,326,143	658,502,220
純 資 産 合 計	249,964,195	245,189,543	235,283,687
事 業 収 益 合 計	286,946,696	320,047,585	344,393,923
当期純利益金額	16,485,452	19,165,856	17,965,537

II 運営組織の状況に関する事項

1 総会の開催状況

(1) 第56回通常総会

開催日時 : 令和元年5月24日(金) 13:30~14:20

開催場所 : 組合事務所2階会議室

出席組合員数 : 89人

議案及び議決の内容

- 第1号議案 平成30年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、余剰金処分(案)の承認について
(原案どおり承認)
- 第2号議案 令和元年度事業計画(案)及び収支予算書(案)の設定について(原案どおり承認)
- 第3号議案 借入金最高限度額の決定について(原案どおり承認)
- 第4号議案 令和元年度1組合員に対する貸付、又は債務保証最高限度額の決定について(原案どおり承認)
- 第5号議案 定款第10条の規定に基づく令和元年度加入金の額の決定について(原案どおり承認)
- 第6号議案 定款第18条の規定に基づく令和元年度経費の賦課及び徴収の時期等の決定について(原案どおり承認)
- 第7号議案 定款第35号の規定に基づく令和元年度役員の報酬額決定について(原案どおり承認)
- 第8号議案 令和元年度予算執行中各科目間の流用及び予備費充用の承認について(原案どおり承認)

2 理事会の開催状況

(1) 第1回理事会

日時: 平成31年4月24日(水) 12:30~13:30

場所: 組合2階会議室

出席理事・監事数 13人

- 議題
- ① 第56回通常総会議案書(案)について
 - ② 共同受電事業について
 - ③ 就業規則等の改正及び育児・介護休業等に関する規程の制定について
 - ④ その他
 - ⑤ 前回(平成30年度第4回)理事会会議録について
(各議題については原案通り承認)

(2) 第2回理事会

日時：令和元年11月28日(木) 18:30～19:00

場所：鹿児島東急REIホテル

出席理事・監事数 12人

- 議題 ① 令和元年度中間決算について
② 土地賃貸借等について
③ 共同受電事業について
④ 借入金返済について
⑤ その他
⑥ 前回(第1回)理事会会議録について
(各議題については原案通り承認)

(3) 第3回理事会

日時：令和2年3月26日(木) 12:00～13:00

場所：組合2階会議室

出席理事・監事数 16人

- 議題 ① 令和元年度収支決算書(案)見込みについて
② 令和2年度収支予算書(案)計画について
③ 組合加入等の諾否について
④ 第57回通常総会について
⑤ 共同受電事業について
⑥ その他
⑦ 前回(第2回)理事会会議録について
(各議題については原案通り承認)

3 三役会の開催

毎月1回を原則に、定例的に以下のとおり12回開催しました。その都度業務運営上必要な事項等について協議し、組合運営・事務の適切かつ円滑な執行等に努めたところです。

(4月22日、5月22日、6月18日、7月19日、8月20日
9月19日、10月23日、11月28日、12月23日、
1月29日、2月21日、3月26日)

4 組合員数及び出資口数の増減

項目	前年度末	増加	減少	本年度末
組合員数	121	0	4	117
出資口数	672	0	7	665
出資総額	67,200千円	0千円	700千円	66,500千円

5 役員に関する事項

(1) 役員の名氏及び職制上の地位

地位	氏名	担当	地位	氏名	担当
理事長	柴立 鉄彦	運営管理全般	理事	松窪 寛	
副理事長	米盛 直樹	企画運営	理事	内村 武志	
副理事長	奥 光洋	企画運営	理事	久永 修平	
専務理事	脇 隆一郎	事業会計総務	理事	岩下 正夫	
理事	鳥井ヶ原孝夫		理事	長野 明人	
理事	吉岡 透		理事	米盛 実郎	
理事	平澤 正幸		監事	宇都 幸雄	監査
理事	横小路喜代助		監事	末吉 正孝	監査

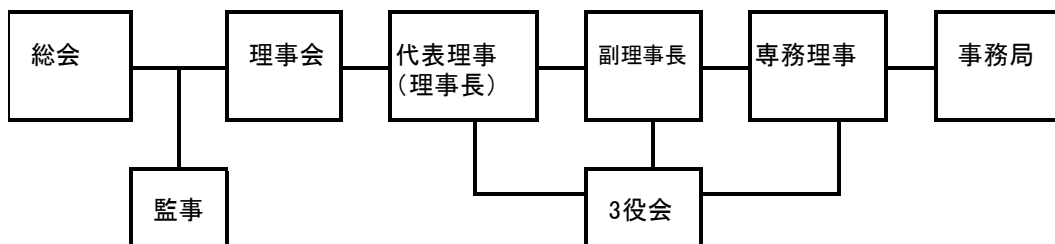
6 職員の状況及び業務運営組織図

(1) 職員の状況

	前期末	当期増加	当期減少	当期末
人数	3人(1)	0	0	3人(1)
平均年齢	49歳	0	0	50歳
平均勤続年数	6年	0	0	7年

() は嘱託職員：別計

(2) 組織図



7 施設の配置状況

施設の名称	施設の概要	所在地
組合事務所	事務所、共同受電所	鹿児島市東開町4番地17
埋立地	賃貸借地、駐車場	鹿児島市東開町5番地17

財 産 目 録

財 産 目 録

令和 2 年 3 月 31 日 現在

【資産の部】		(単位:円)
	摘 要	金 額
I	流動資産	54,865,278
1	現金	45,943
2	預金	50,755,414
	当座預金 鹿児島銀行卸本町支店	154,508
	普通預金 鹿児島銀行卸本町支店	9,879,007
	商工組合中央金庫鹿児島支店	618,529
	鹿児島相互信用金庫南支店	393,791
	定期預金 鹿児島銀行卸本町支店	23,015,943
	鹿児島相互信用金庫南支店	16,693,636
3	受取手形	0
4	貯蔵品 共同受電用機材	2,419,562
5	未収入金 共架料,消費税還付	1,566,203
6	仮払金	0
7	前払費用 ウイルスバスター会費	78,286
7	貸倒引当金	△ 130
II	固定資産	486,847,288
(1)	有形固定資産	478,556,631
1	建物	114,168
	組合事務所	114,168
2	共同施設	9,908,035
	目立工場	513,764
	事務所車庫	37,803
	厚生施設	0
	消防施設	1
	共同受電施設	9,356,467
3	構築物	3,425,414
	給排水設備等	3,425,414
4	工具機具備品	320,056
	パソコン、プリンター等	320,056
5	土地	464,788,958
	組合事務所用地 (8,897.48㎡)	15,873,313
	目立工場用地 (1,621.40㎡)	2,940,142
	水面貯木場埋立地 (23,936.89㎡)	443,232,461
	その他(東開町5-16) (1512.71㎡)	2,743,042
	道 路 (6,496.00㎡)	
	面積合計 (42,464.48㎡)	
(2)	無形固定資産	90,657
1	電話加入権	90,657
2	ソフトウェア	0
(3)	投資その他資産	8,200,000
	出資金	
	(株)商工組合中央金庫出資金	7,500,000
	(75,000口、額面100円)	
	鹿児島県木材協同組合連合会出資金	200,000
	(4口、額面50,000円)	
	鹿児島相互信用金庫出資金	500,000
	(1,000口、額面500円)	
III	繰延資産	18,482,101
(1)	繰延資産	18,482,101
	上下水道設備(鹿児島市寄付)	1,333,398
	海岸保全施設(鹿児島県への移管)	17,148,703
資 産 合 計		560,194,667

【負債の部】		(単位:円)
摘 要		金 額
I	流動負債	<u>204,485,800</u>
	1 支 払 手 形	0
	2 短 期 借 入 金	195,000,000
	3 未 払 金 嘱託職員3月分給与	59,500
	4 前 受 金 家賃・駐車場代	6,749,000
	5 仮 受 金	0
	6 預 り 金	0
	7 従 業 員 預 り 金	0
	8 未 払 法 人 税	2,677,300
	9 未 払 消 費 税	0
II	固定負債	<u>107,166,000</u>
	1 長 期 借 入 金	87,448,000
	2 預 り 保 証 金 家賃敷金	19,718,000
負債合計		<u>311,651,800</u>
正味資産		248,542,867

損 益 計 算 書

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月 31日

科 目	金 額	円
【 事 業 収 益 】		
共同受電事業収入	122,280,288	
共同施設利用事業収入	91,110,687	
教育情報事業収入	1,009,092	
印紙等売上	856,794	215,256,861 A
【 賦 課 金 等 収 入 】		
一 般 賦 課 金	1,613,000	1,613,000 B
【 事 業 費 用 】		
調 査 研 究 事 業 費	673,480	
教 育 情 報 事 業 費	3,182,372	
共 同 受 電 事 業 費	144,472,880	
共 同 金 融 事 業 費	0	
共 同 施 設 利 用 事 業 費	4,463,256	
福 利 厚 生 事 業 費	1,574,910	
合 計	154,366,898	154,366,898 C
事 業 総 利 益 金 額 D	A + B - C	62,502,963
【 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 】		
事 業 利 益 F	D - E	11,643,275
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	9,452	
受 取 配 当 金	235,000	
雑 収 入	29,091	273,543 G
【 営 業 外 費 用 】		
貸 倒 損 失	0	0 H
経 常 利 益 I	F + G - H	11,916,818
【 特 別 利 益 】		
諸 引 当 金 戻 入	140	
法 定 繰 越 金 戻 入	4,000,000	4,000,140 J
【 特 別 損 失 】		
固 定 資 産 売 却 除 却 損	1,337,556	
貸 倒 引 当 金 繰 入	130	1,337,686 K
税 引 前 当 期 純 利 益 L	I + J - K	14,579,272
法 人 税 等 充 当 額		2,677,300 M
当 期 純 利 益 N	L - M	11,901,972

販売費及び一般管理費内訳書

自 平成31年 4月 1日

至 令和2年 3月 31日

科 目	金 額	円
役 員 報 酬	7,740,000	
職 員 給 料 手 当	13,046,844	
法 定 福 利 費	2,492,765	
福 利 厚 生 費	113,926	
退職共済事業団負担金	240,000	
役 員 会 費	617,034	
総 会 費	292,309	
印 刷 費	20,000	
負 担 金	692,320	
顧 問 料	420,000	
水 道 光 熱 費	350,387	
車 両 経 費	283,865	
事 務 費	381,894	
消 耗 品 費	259,537	
保 険 料	402,870	
修 繕 費	1,203	
租 税 公 課	16,895,471	
減 価 償 却 費	4,454,915	
交 際 費	357,618	
旅 費 交 通 費	350,150	
通 信 費	459,394	
手 数 料	140,478	
寄 付 金	303,000	
管 理 諸 費	204,000	
器 具 備 品 費	147,000	
雑 費	192,708	
合 計		50,859,688

剰 余 金 処 分 案

自 平成31年4月 1日

至 令和 2年3月31日

I 当期末処分利益

1	当期純利益金額	11,901,972円
2	前期繰越剰余金	3,489,974円
	合 計	15,391,946円

II 剰余金処分額

1	法定利益準備金	1,200,000円
2	教育情報費用繰越金	1,300,000円
3	特別積立金	1,200,000円
4	出資配当金	6,650,000円
	合 計	10,350,000円

III 次期繰越剰余金 5,041,946円

監査報告書

中小企業等協同組合法第40条第5項により、組合から受領した令和元年度(第57期)財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案を監査した。

なお、当組合の監事は、定款第32条(監事の職務)に定めるところにより、監査の範囲が会計に関するものに限定されているため、事業報告書を監査する権限を有していない。

1 監査方法の概要

決算関係書類の監査のため、会計に関する帳簿、書類を閲覧し、計算書類について検討を加え、必要な実査、立会、照合及び報告の聴取その他通常とすべき必要な方法を用いて調査した。

2 監査結果の意見

(1) 財産目録、貸借対照表及び損益計算書は、組合の財産及び損益の状況を正しく表示しているものと認める。

(2) 剰余金処分案は法令及び定款に適合しているものと認める。

3 追記情報

決算関係書類について記載事項はない。

令和2年4月21日

鹿児島木材産業協同組合

監事 宇都 幸雄



監事 末吉 正孝

